

## 増刊号について

日本統計学会は、創立 60 年を契機に統計学関連の学会・研究会の共催を得て「統計学の現状と未来展望事業」を実施した。そこでは統計学の方法論的側面と、統計そのものの現段階をシンポジウム形式で討議を行ったり、各種総説・展望論文の作成を行った。シンポジウムでの討議内容は、いわゆる学術論文としてまとめるよりは、全体をなるべく直接に記録し、シンポジウムに出席できなかった会員にも伝えるべきもののように感じられた。記念事業委員会としては、統計学会誌の特別増刊号として刊行することにした。本増刊号がその第 1 分冊である。

増刊号の編集は ISI 東京大会の特別号の前例にならって、通常号の編集委員と別に我々が担当した。本誌から何らかの知見を得ていただければ幸いである。

なお、本増刊号の出版は「統計学の現状と未来展望事業」に対する多くの人々や法人の寄金によっている。それらの人々・法人等の御芳名は巻末に記載してある。また、統計学の現状展望については、文部省科学研究費平成 3 年度総合研究(A) (研究課題番号 03301078 研究代表者 松田芳郎) の援助を得ている。

1992 年 3 月

統計学の学会活動 60 周年記念特集号

編集委員 西川 俊作

吉村 功